

## blousonite.com

八王子祭にて、左のほうにいます。



## 水道の民営化について

9月の議会で水道について質問しました。質問の量としては、水道施設の災害時の強度などが多いのですが、私の主要な関心は水道の民営化にあります。この質問をした背景には市町村で、財政的に苦しく、民間資本を入れて、水の供給を図りたいという考え方が最近報道されているからです。民営化については、現在朝日町行政は考えていないという回答です。私自身は、その判断は正しいことだと考えています。

水資源の会社はフランスなどの外国資本が強い分野です。民間企業としては、利益が上がる分野には参入したいと考えるのは当然です。しかし、利益が出なくなれば、撤退します。業者が頻繁に交代するような状況になれば、安定した水の供給ができませんし、撤退されたあとその後の業者が見つからなければ、水の供給自体ができません。外国では、競争原理を導入し、値下げを期待して民営化したにもかかわらず、逆に値上げになった例もあります。水道管の敷設は職員が直接行っているわけではない（業者が行っています）ですが、職員が把握しているので、安全な水が供給できているわけです。退職したある朝日町の行政職員と話をしていた時に「朝日町の水道網はすべて頭に入っていますよ。」と言われたことがあります。

現在まで多くのものが民営化されてきました。国鉄、電話、郵便などが一般には知られていると思います。民営化においては、成果もありました。民営化の問題は、採算が合わないで撤退や事業縮小がありえることです。そのため過疎地では、鉄道が廃線になっています。今後国土の均等な発展が難しいというより、人口減少時代で、過疎化がさらに進めば、そういった地域は、郵便局などの統廃合や閉鎖などが、今後起こりえます。

水道の民営化と市町村合併は似ているような印象を持っています。市町村合併も一度合併すると結果が不満でも分離することができません。要するに一度するとやめられません。政策の過程も似たように印象を受けます。市町村合併は最初は漠然とした情報が出て、よくわからない感じなのですが、最後は合併しか選択肢がないような状況がうまれます。今回の質問はその点を確認するために行いました。

水道はなくてはならない資源です。鉄道がなくても、自家用車という選択肢がありえ、郵便局は身近になくとも、車で行けばなんとかなるわけですが、水道の場合、家は動くことはできないわけで、水道管が身近にないとなんともならないわけです。ペットボトルの水を購入すれば、水は手に入るわけですが、洗濯や風呂の水をペットボトルで賄うのは現実的ではありません。

## 水道の民営化について

## 表面

水道の民営化と市町村合併について書きました。



役場

## 9月議会の質問

## 裏面

水道について質問をしました。



議場

## 地域パトロール

以前から参加してきました地域パトロールは、防犯ステッカーを使ってのパトロールに変更になりました。

## ビスケットの日程

体験教室を中心に行っています。

## 編集後記

私が住んでいる小向地区には300年続いている八王子祭があります。祭というのは不思議なもので、一定程度の流儀や形式によって行われるわけですが、それは、その時の人々によって決められたり、変更されたりするものであることが、参加をしているとよくわかります。本来祭は地域の人によってのみ行われてきたので、山車を引く人は地域の人なのですが、最後の叩き合いに出る人は、地域以外の人もあります。そのあたりの限定、地区外の人禁制や女人禁制は特に伝わっておらず、おそらく、国籍や性別も関係ないのではないかと思います。今年はパリから見に来た人がいたそうです。将来、アメリカや中国の人が参加するようになるかもしれません。